

# 2019年度 事業報告書

2019年4月1日から 2020年3月31日まで

特定非営利活動法人中村元記念館東洋思想文化研究所

## 1 事業の成果

2012年10月10日の開館以降、2020年3月31日時点で延べ61,988名が訪れている。2019年度は、6190名にご来館いただいた。

2019年度は、平成から令和の時代になり、平成の元号制定に有識者として携わられた中村博士についての展示を行った。

また、大学との連携事業として、島根大学との共催事業や、教授による講演会なども行うことができた。

松江市からの受託事業である中村博士の蔵書整理事業についても、3,278点の資料を登録でき、当初の目標を達成できた。

その他、計画をほぼ実施することができた。

また、2020年4月1日から認定NPOの資格を取得することができたことも大きな成果である。

## 2 事業の実施に関する事項

事業名	事業内容	実施事業の 日時・場所、 従事者の人数	受益対象者 の範囲 及び、人 数、評価	事業費の 金額 (単位：千円)
故中村元博士の蔵書の管理及び中村元記念館の管理と運営	1. 中村元博士蔵書整理事業 2. 中村元記念館管理・運営		別紙参照	14,485
東洋思想・文化に係る研究、講座、イベントなどの実施	1. 中村元記念館各種講座の運営 2. 研究員による研究活動 3. 企画展 4. 中村元東洋思想文化賞 5. 大学連携事業		別紙参照	3,690
東洋思想・文化の普及、啓発のための出版及び広報事業	1. 記念館通信の発行 2. 博物館/施設との連携 3. メディア対応 4. その他広報活動 5. ミュージアムショップ運営		別紙参照	316
国際文化交流事業	1. アジア文化紹介事業 2. 山陰インド協会との連携		別紙参照	200
地域の文化、経済、観光、人づくりを推進するために必要な事業	1. 中村元記念館友の会の会員募集・会員特典の提供 2. 地域・行政との交流事業 3. 子ども教育事業 4. 旧八束教員住宅(通称)「はじめハウス」の利活用		別紙参照	183

### 3 会議に関する事項

#### (1) 理事会

◆第1回理事会（開催年月日 2019年5月27日）

開催場所 中村元記念館 研究室

出席者数 12名（うち表決委任者 7名）／ 理事人数 13名

議決事項の概要

- ・2018年度事業報告・決算等について
- ・2019年度事業計画及び予算について
- ・任期満了に伴う役員選任について
- ・諸規程について(退職金規程)

◆第2回理事会（開催年月日 2019年7月1日）

開催場所 中村元記念館 研究室

出席者数 7名 / 理事人数 12名

議決事項の概要

- ・理事長の選任について

◆第3回理事会（開催年月日 2020年1月22日）

開催場所 中村元記念館 研究室

出席者数 11名（うち表決委任者 8名）／ 理事人数 12名

議決事項の概要

- ・理事の選任について

#### (2) 総会

◆総会（開催年月日 2019年 5月21日）

開催場所 中村元記念館 研究室

出席者数 15名（うち表決委任者 7名）／正会員数 20名

議決事項の概要

- ・2018年度事業報告・決算について
- ・2019年度事業計画及び予算について
- ・任期満了に伴う役員選任について
- ・諸規定について 1. 退職金規程(案)について

【別紙】

特定非営利活動法人

中村元記念館東洋思想文化研究所

2019 年度 事業報告書



# 目次

I	入館者数	1
II	個別事業報告	2
	(1) 故中村元博士の蔵書の管理及び中村元記念館の管理と運営	2
	1. 中村元博士蔵書整理事業(松江市より受託)	2
	2. 中村元記念館管理・運営事業	3
	(2) 東洋思想・文化に関わる研究、講座、イベント等の実施	4
	1. 中村元記念館各種講座の運営(東方学院松江校 中村元記念館文化講座)	4
	2. 研究員による研究活動	4
	3. 企画展	5
	4. 中村元東洋思想文化賞	6
	5. 大学連携事業	7
	(3) 東洋思想・文化の普及、啓発のための出版及び広報事業	8
	1. 記念館通信の発行	8
	2. 博物館/施設との連携	8
	3. メディア対応	9
	4. その他広報活動	10
	5. ミュージアムショップ運営	10
	(4) 国際文化交流事業	11
	1. アジア文化紹介事業	11
	2. 山陰インド協会との連携	11
	(5) 地域の文化、経済、観光、人づくりを推進するために必要な事業	12
	1. 中村元記念館友の会の会員募集・会員特典の提供	12
	2. 地域・行政との交流事業	12
	3. 子ども教育事業	13

## I 入館者数

平成 24 年 10 月 10 日の開館以降、令和 2 年 3 月 31 日時点で延べ 61,988 名が訪れている。

前年度と比較すると、前半は好調であったが、後期は入館者数が減少した。認定 NPO の申請準備に力を入れたため、新しい企画展示、イベントなどの開催が思うようにできなかったことも要因であると考えられる。また、3 月 11 日からは、新型コロナウイルス感染防止のため、全館休館の措置をとったこともあり、前年度と比較し 86% の入館者数となった。

月別入館者数

月	2018 年度 入館者数 (人)	2019 年度 入館者数 (人)	対前年比 (%)
4 月	966	1,667	173
5 月	175	559	319
6 月	637	680	107
7 月	517	643	124
8 月	741	402	54
9 月	535	187	35
10 月	732	522	71
11 月	892	402	45
12 月	563	474	84
1 月	248	261	105
2 月	604	310	51
3 月	628	83	13
合計	7,238	6,190	86
月平均	603	516	86
累計	55,798	61,988	111

## II 個別事業報告

### (1) 故中村元博士の蔵書の管理及び中村元記念館の管理と運営

#### 1. 中村元博士蔵書整理事業(松江市より受託)

事業の目的	松江市から委託された中村元博士の蔵書を整理・公開することで、松江市の歴史的財産として保存するとともに、研究者の利用のみならず、一般の来館者の皆様にも広く観覧していただく。
実施期間・人数	通年
実施人数	職員:4名(通年)、ボランティア のべ60名
事業内容	<p>■蔵書整理・登録</p> <p>平成26年度に導入した図書管理ソフトGANGAとNACSIS接続ソフトMILAGROにより、国立情報学研究所が運営する総合目録データベース(NACSIS-CAT)を利用し、自館とNACSIS-CATへの登録を実施。</p> <p>2019年度は3,278点の資料を登録した。(通算登録冊数:16,522冊)</p> <p>■蔵書の公開</p> <p>・記念館のOPAC(オンライン蔵書検索システム)登録による公開と、常設展示、企画展等で順次公開した。</p> <p>■資料保全作業</p> <p>・中村博士の蔵書・原稿は、記念館スタッフの他、外部ボランティアの協力なども得ながら、1冊ずつ手作業で丁寧にクリーニング作業を行っている。</p> <p>2019年度は、専用の資料保存箱を購入し、図書以外の資料(日記、原稿、メモ、写真、書簡など)の保存にも力を入れた。</p> <p>温湿度管理を意識し、よりよい環境での保存を目指している。</p> <p>■図書室スタッフブログの開設</p> <p>蔵書整理、図書質の運営を広報するブログを今年度は9回発信した。</p> <p>■資料整理・保存・公開のためのスタッフ研修</p> <p>適正な資料保存について、専門の業者によるレクチャーを複数回にわたり受けた。</p>

## 2. 中村元記念館管理・運営事業

事業の目的	中村元博士の業績を広く一般の人に顕彰する。 記念館運営を滞りなく行うための事業。
実施期間・人数	通年
実施人数	職員・スタッフ:9名(通年)、
事業内容	<p>■団体見学 2019年度は8団体 120名の来館者への館内説明を行った。</p> <p>■取材・視察対応 5回 (対応:スタッフ 理事長 職員4名)</p> <p>■各種研修参加</p> <p>①ファンドレイジング合同作戦会議 報告書提出 11回 中間報告会 5月16日、(自然再生センター) 職員2名 個別相談会(web面談) 職員2名 全体研修 発表会 8月30日(松江テルサ) 職員2名</p> <p>②成果の導き出し方ワークショップ 6月6日 松江スティックビル 職員1名</p> <p>③日本博物館協会・島根ミュージアム協議会合同研修 「博物館と子供のかかわり」 職員1名</p> <p>④松江市役所八束支所 職員研修参加 職員1名</p> <p>■認定NPO資格取得 令和2年4月1日～令和7年3月31日</p> <p>■消防・避難訓練 第1回 10月10日(合同避難訓練)職員 4名 第2回 3月26日(消火器操作方法・避難訓練)職員2名</p>



## (2) 東洋思想・文化に関わる研究、講座、イベント等の実施

### 1. 中村元記念館各種講座の運営(東方学院松江校 中村元記念館文化講座)

事業の目的	「東洋思想の世界的権威」である中村元博士の私塾「東方学院」の理念を継承すべく「東方学院松江校」・「中村元記念館文化講座」を開講する
実施期間・人数	2019年4月1日～2020年3月31日
実施人数	職員:4名(通年) 講師:24名
事業内容	<p>■東方学院松江校ガイダンス 4月13日(土) 参加者 25名</p> <p>■東方学院松江校では、通年の定期講義 12 講義を開講した。 外部から講師を招聘する集中講義では、現職の大学教員を中心に、10 講座を開講した。 また、2019 年度から新たに研究会員以外でも受講できる中村元記念館文化講座を 3 講座開講した。</p> <p>・講座数:25 講座 受講申込者数:173 名</p> <p>■特別講座 香道体験 8月11日(日) 講師:大谷香代子氏(公益財団法人 お香の会) 参加者 22名</p>

### 2. 研究員による研究活動

事業の目的	中村元記念館東洋思想文化研究所研究員:9名。 故中村元博士が開拓された学問の道を探求し、山陰地域の学術・文化の振興に寄与することを目的として、研究活動を行っている
実施期間・人数	通年
実施人数	研究員 9名
事業内容	<p>■研究活動報告の場として、所属研究員による「中村元思想文化カフェ」を実施した。</p> <p>◆第15回 思想文化カフェ 2019年12月22日(日) ・「中世の仮名法語「一言芳談」を読む」</p>

	<p>島田 隆輔(中村元記念館東洋思想文化研究所)</p> <p>・『ムーミン谷の冬』とトーベヤンソンの時代</p> <p>笠原 愛古(中村元記念館東洋思想文化研究所)</p> <p>お楽しみ会</p> <p>※一風亭さんによる無国籍料理を提供</p> <p>参加者人数:20名 職員4名</p> <p>■記念館通信への研究員による寄稿 2回</p> <p>■平成31年度松江市立中央図書館定期講座</p> <p>9月28日(土)</p> <p>「小泉八雲と中村元博士:比較文化・比較思想の先駆者,松江愛と地元貢献」岡崎秀紀(中村元記念館東洋思想文化研究所研究員)</p> <p>■子ども神楽に関するプロジェクト参加</p> <p>中野秋鹿(中村元記念館東洋思想文化研究所研究員)</p>
--	--

### 3. 企画展

<b>事業の目的</b>	中村博士の研究や人物、また東洋思想などについての企画展を行った。中村博士と縁の深いインドについて、絵画や写真などの展示を行った。博士の蔵書、収蔵品などを図書室ミニ展示として親しみやすく展示した。さるすべりコーナーでは、子供にも興味を持ってもらえる展示を行った。
<b>実施期間・人数</b>	下記のとおり
<b>実施人数</b>	職員4名 ボランティア2名
<b>事業内容</b>	<p>①中村元記念館企画展 三井昌志写真展「インド・12億の素顔」</p> <p>「日経ナショナルジオグラフィック写真賞2016」においてピープル部門最優秀賞を受賞された、写真家 三井昌志氏の写真展「インド・12億の素顔」を開催。</p> <p>期間：後期…2018年1月29日(火)～2019年4月15日(月)</p> <p>②改元記念企画展「平成と令和」</p> <p>平成の元号を選定する有識者会議の一員であった中村博士が、元号制定のために準備された資料を展示した。</p> <p>期間：2019年7月20日(土)～2019年11月24日(日)</p> <p>③インド聖地巡礼の旅 ～瀧博道作品展 第2弾～</p> <p>2018年に開催し好評を得た水彩スケッチ展の第2弾を行った。</p> <p>期間：2019年12月3日(火)～2020年5月30日(日)</p>

	<p>&lt;さるすべりコーナーミニ展示&gt;</p> <p>①世界のトランプ&amp;ゲーム展 期間：2019年4月30日～2019年6月30日</p> <p>②プレミニ写真展示 「松江の白鳥」 期間：2019年3月7日～</p> <p>&lt;図書室ミニ展示&gt;</p> <p>図書室ミニ展示 No. 6：笑顔と語学と禅（フランスのぜん） 期間：2019年6月20日～2020年1月31日</p>
--	---

#### 4. 中村元東洋思想文化賞

<b>事業の目的</b>	連携大学を含む全国の国公立大学及び私立大学100校を対象に、大学生・大学院生の優れた論文を広く顕彰し今後の研究を奨励することを目的とする。
<b>実施期間・人数</b>	授賞式 2019年10月19日(土)
<b>実施人数</b>	職員・スタッフ8名
<b>事業内容</b>	<p>「中村元東洋思想文化賞」を設立し、東洋思想を学ぶ学生による学士論文、修士論文を表彰した。授賞式は松江市能海副市長、ご臨席の元、優秀賞、松江市長賞、奨励賞を授与し、賞状と盾、学術奨励金の他に記念品が贈られた。</p> <p>・優秀賞：東北大学 大学院 亀山 光明 「近代日本仏教における戒律復興運動の展開 — 釈雲照の思想と行動を中心として—」</p> <p>・松江市長賞：広島大学 徳武 太郎 「インド古典音楽論書の研究 —Samgitaratnakara 第1章第1・3節を中心に—」</p> <p>・奨励賞：駒澤大学 栗木 亮学 「十二支縁起説の構造 —ブツダの修行に着目して—」</p> <p>授賞式のあとには、亀山光明氏(優秀賞)による特別講演がおこなわれた。</p> <p>参加者人数 20名</p>

5. 大学連携事業

<p><b>事業の目的</b></p>	<p>インド哲学や仏教学を学べる大学や、近隣の大学、大学院と連携することで、高等教育の場で、記念館の活用をしていただくことを目的とする</p>
<p><b>実施期間・人数</b></p>	<p>通年</p>
<p><b>実施人数</b></p>	<p>職員 スタッフ 8名 連携大学</p>
<p><b>事業内容</b></p>	<p>■島根大学法文学部山陰研究センター 島根大学附属図書館          ①中村元記念館コレクション 丸山勇写真展「中村元とブッダのことば」          日程:2019年6月12日～28日 場所 島根大学附属図書館</p> <p>②山陰が生んだ知識人たち ―中村元と増田渉―          日程:2019年6月22日(土)          講演 「中村元博士の生涯と思想」(笠原愛古)</p> <p>③島根大学附属図書館報 『淞雲』第22号(令和2年3月)          「中村元博士の生涯と思想(講演録)」(笠原愛古) 掲載</p> <p>■友の会交流会          6月1日 参加者 22名          招待講演会 島根大学法文学部長・教授 田中則雄先生          「人の心の奥深き」考 ―人形浄瑠璃『仮名手本忠臣蔵』をめぐって―</p> <p>■丸井 浩先生 「インドにおける因果の思想の研究」(武蔵野大学 東京大学)研究者6名 視察</p> <p>■島根大学 千代章一郎先生 図書室資料閲覧</p>
<p><b>連携先</b></p>	<p>大正大学、立正大学、佛教大学、島根大学、島根県立大学、          東京大学(インド哲学仏教学研究室)、          東洋大学、武蔵野大学、          龍谷大学、大谷大学、</p>

### (3) 東洋思想・文化の普及、啓発のための出版及び広報事業

#### 1. 記念館通信の発行

事業の目的	中村博士の業績や、中村元記念館の活動を記念館関係者の方々、また広く一般の方々にお知らせすることを目的とする。
実施期間・人数	2019年6月(13号)、2020年3月(14号)発行 職員・スタッフ8名
事業内容	<p>■第13号 5000部発行 内容:開館5周年記念事業報告、中村元東洋思想文化賞授賞式、研究員コーナー、学芸員だよりなど</p> <p>■第14号 5000部発行 内容:島根大学との大学連携事業、企画展・特別展について、ご支援のお礼、平成31年・令和元年寄付者ご芳名(2月末まで)、研究員コーナーなど</p>

#### 2. 博物館/施設との連携

事業の目的	広く全国の方へ東洋思想・哲学を普及するため、哲学者を顕彰する全国の施設と連携し普及活動を推進。
実施期間・人数	通年 職員4名
事業内容	<p>■連携協定を結んでいる「史跡足利学校」ほか、石川県金沢市「鈴木大拙館」、石川県かほく市「石川県西田幾多郎哲学館」をはじめ、古代出雲歴史博物館など近隣の博物館や美術館などとはパンフレット・ポスターの掲示など広報についての連携を継続中。</p> <p>■松江市立松江歴史観 展示協力 ＜特別展＞海将山口多聞を生んだ松江藩士山口家 令和元年9月13日(金)～11月4日(月・休) 中村半六についての資料提供など</p> <p>開会式参加 9月13日 職員1名(学芸員)</p>

### 3. メディア対応

事業の目的	中村元博士、記念館の紹介、博士の業績の顕彰などのため、各種媒体、メディアへの取材対応、記事掲載を積極的に行った。
実施期間・人数	通年 職員・スタッフ 9名
事業内容	<p>① 新聞記事掲載(「慈しみの心」除く 36回)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・山陰中央新報『第1面「慈しみの心」毎日掲載</li> <li>・山陰中央新報 情報BOX 企画展・イベント情報掲載</li> <li>・りびえーる(山陰中央新報) 企画展情報掲載</li> <li>・山陰中央新報 元号関連記事 2019.4.2 「父の願い投影 素晴らしい元号」(三木純子氏)</li> <li>・山陰中央新報第7面 ひとこと(読者投稿) 中村元の慈しみの心の記事について 2019.9.29</li> <li>・読売新聞 中村元記念館「香道体験」について 2019.8.2 教え 心の道しるべに(清水谷理事長) 2019.8.5</li> <li>・日本海新聞 海潮音欄(記念館の宣伝) 2019.10.10</li> </ul> <p>② ふるさと島根定住財団機関紙『しまねいきいきネット』</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>No139 2019.10.20号 中村元記念館ボランティア取材</li> <li>No134 2019.5.20号 島根で頑張るひと 理事長紹介</li> </ul> <p>③ 曹洞宗総合研究センター『たいまつ通信』106号(2019.11.10発行)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>山下博司先生 集中講義について</li> </ul> <p>④ 八束公民館だより</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>6月号 2019年6月 第147号 イベント情報</li> <li>【お知らせ】中村元記念館「ヨーガとインド楽器の休日」</li> <li>1月号 2020年1月 第153号</li> <li>中村元記念館よりお知らせ</li> <li>籠博道作品展第2弾「スケッチと水彩で描く インド聖地巡礼の旅」</li> </ul> <p>⑥ 10月13日 来館者6万人達成セレモニー</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>中村祥江様(出雲市) 副市長より牡丹の鉢植え贈呈</li> </ul>

#### 4. その他広報活動

<b>事業の目的</b>	中村元記念館及び東洋思想に興味を持っていただくため、チラシやパンフレットだけでなく、ホームページやブログ、フェイスブックなど様々な媒体を通じて情報発信を行った。
<b>実施期間・人数</b>	通年 職員 4 名
<b>事業内容</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・パンフレットの配布(約 850 部)</li> <li>・ホームページの運営(講座・イベント情報等適宜発信中)</li> <li>・メールマガジンの発行 No69～No86(18 回)</li> <li>・フェイスブックの運営(40 回更新)</li> <li>・ブログの運営(16 回更新)</li> <li>・島根いきいき広場(3 回:イベント情報掲載)</li> <li>・中海テレビ放送 みんなの伝言板 4 回配信</li> </ul>

#### 5. ミュージアムショップ運営

<b>事業の目的</b>	一般書店では手に入りにくい中村元博士の著作、東洋思想、仏教関連書籍など、専門書籍を幅広く取りそろえ、来館者の知へのニーズを満たす。 記念館オリジナルのお土産品の提供による、来館者満足度の向上。
<b>実施期間・人数</b>	通年 職員 4 名
<b>販売グッズ</b>	<p>哲学、東洋思想などの専門書籍を充実させた。</p> <p>出版社の協力もあり、現在、CD や DVD など映像資料なども併せると約 200 種を超える品ぞろえとなっている。</p> <p>お客様が手に取りやすくなるようなポップを付けて工夫した。</p> <p>また、来館者のお土産として中村元記念館のオリジナルグッズ、クリアフォルダ、オリジナルノート、慈しみのコーヒー詰め合わせ、地元産の紅茶を販売した。</p>

#### (4) 国際文化交流事業

##### 1. アジア文化紹介事業

事業の目的	中村元記念館の認知度向上や、新規来館者の獲得を目的とし、広く一般の方を対象に中村元博士が研究されたアジア地域について紹介し、文化的な交流を促進する。
実施期間・人数	通年 職員 4名
事業内容	<p>(1)ぼたん祭ステージイベント 2019年4月28日:ぼたん祭参加。 ステージイベントとして、瀬古喜代江氏による「シルクロード・中国の弦楽器揚琴(ヤンチン)」の演奏を行った。</p> <p>(2)さるすべりコーナーでの文化紹介本の設置 アジア各国の文化紹介本等を公共図書館から借り受け、気軽に読書することができる環境を提供。</p> <p>(3)国際ヨーガの日 関連イベント 「ヨーガとインド楽器の休日」 ヨーガ指導講師:山本紀子先生 シタール演奏:瀬古康雄先生 参加者 14名</p>

##### 2. 山陰インド協会との連携

事業の目的	「日印の絆の要」として記念館があり続けるために、山陰インド協会と連携し、インド等諸外国の要人を招き中村元博士と記念館を知っていただく。
実施人数	職員3人
事業内容	<p>■5月31日 在日インド大使 来館見学 インド舞踏団 はじめハウス利用</p> <p>■8月5日 松江市国際交流 インド商工会関係者5名視察</p>



(5) 地域の文化、経済、観光、人づくりを推進するために必要な事業

1. 中村元記念館友の会の会員募集・会員特典の提供

事業の目的	記念館の理念に共感される方々に「中村元記念館友の会」に加入していただき、運営をご支援いただくとともに、中村元博士の業績、東洋思想及び当館の活動に対する理解を一層深めていただく。
実施期間・人数	通年
事業内容	<p>中村元博士の蔵書整理・公開、東方学院松江校の運営など、当館の活動に対して共感・協力していただける方を対象に、「中村元記念館友の会」に加入していただく。・会費 2,000 円/年      ・2019 年度会員 34 名</p> <p>■友の会交流会 6月1日 参加者 22名 招待講演会 島根大学法文学部長・教授 田中則雄先生</p>

2. 地域・行政との交流事業

事業の目的	行政、民間、地元八束町の要望に沿った交流事業を実施し、中村元と記念館を知っていただく契機とする。
事業内容	<p>■2019年4月27日～5月6日:ぼたん祭への参加・運営協力。</p> <p>■2019年10月23日:第7回中村元記念杯八束町、世代間交流 GG 大会の開催協力 八束町グラウンド・ゴルフ協会主催 スタッフ1名・副理事長</p> <p>■クリーンやつか (町内清掃) 4月21日 職員1名参加 10月20日 職員2名参加</p> <p>■八束公民館 掲示板 中村元博士が遺した「慈しみあふれる言葉」紹介事業への協力</p>
連携先	八束公民館、松江北商工会、八束町内の自治会・松江観光協会、島根県総務部人事課等

### 3. 子ども教育事業

事業の目的	記念館で簡単な作業を体験し、中村博士の「慈しみ」の心にふれてもらうことで、小中学生の情操教育に役立てる。また、高校生・大学生にも自習室を解放し、利用してもらう。
実施期間・人数	通年 職員 4 名
事業内容	<p>① 中学生職場体験 2019 年 6 月 18 日～20 日 八束学園 9 年生(中学 3 年生)1 名 職場体験受け入れ。図書整理、事務作業、移動図書館でのブックハンティング(記念館に配架する児童図書の選書作業)などの作業を体験していただいた。</p> <p>② 児童図書コーナー(さるすべりコーナー)に、毎月、公共図書館から相互貸借資料を配架し、広い読書年齢に対応した環境を提供</p> <p>③ 自習室の開放 記念館の静かな環境で、勉強や読書を行ってもらえるよう、小・中・高・大学生に自習室を解放した。のべ77名利用。その他閲覧室での自習利用多数</p> <p>④ 八束学園へ出張(中村元博士について)2019 年 11 月 27 日～28 日 毎年 11 月 28 日を『慈しみ読書デー』と題し、記念館刊行の『中村元物語』を八束学園の児童・生徒全員で読む活動に合わせて、記念館の司書と学芸員が博士についてお話を訪問した。</p>

### 4. 旧八束教員住宅(通称「はじめハウス」)の利活用

事業の目的	中村元記念館および利用者の行う会議、研究、宿泊、イベントなどの用途に対して、旧八束教員住宅を提供し、活用することです。周辺地域の活性化を促進する。
実施期間・人数	通年 職員 2 名
事業内容	<p>利用者数134名</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・東方学院松江校講師の宿泊</li> <li>・東方学院松江校 課外授業開催 <ul style="list-style-type: none"> <li>* 民族音楽実践教室の開催(18 回)</li> </ul> </li> <li>・その他スタッフ研修など</li> </ul>